

民間木造住宅の耐震相談会

新潟県中越地震では、古い木造住宅の倒壊により、多くの人が犠牲となりました。このような被害を最小限にするためには、日ごろからの心がけが大切です。町では、地震災害等に備えて、専門者による木造住宅の耐震相談会を開催します。

対象建築物（①～③全てに該当）

①町民が所有し、自ら居住している建築物

②昭和五十六年以前に建築されたもの

③二階建以下の木造在来工法の戸建住宅又は兼用住宅等

予定件数 六〇件（一日当り二〇件）

日時 五月二七日（日）～二九日（火）

十三時～十六時三〇分

会場 役場四階大会議室

相談会に持参するもの

建築確認申請書や平面図または間取り図などの図面を持参してください。

申込み・問合せ

五月七日（月）～十八日（金）

九時～十二時・十三時～十七時

（土日は除く）の間、電話または

窓口へ直接

都市計画課 ☎内線三五四

※予定件数に達し次第、締め切ります。

なお、耐震相談を受けた人で、左記の現地診断、耐震補強工事等の実施を希望される人は、別途、町の補助制度が利用できます。

補助概要

	補助金の対象となる行為	各行為に係る金額の概要		
		総額	補助金額	自己負担額
①	現地診断	3万円	2万円	1万円
②	精密診断・耐震改修計画書の作成	5万円	2万5千円	2万5千円
③	耐震補強工事図面の作成	12万円	6万円	6万円
④	耐震補強工事に係る監理	3万円	1万5千円	1万5千円
⑤	耐震補強工事費	相当額	最高限度30万円	残額

（工事費補助については、前々年の世帯総所得金額の状況により15万円が上限となる場合があります）
※総合評点とは…木造住宅の耐震構造性能を総合的に判断するもので、建物の安全性を数値で示すものです。

パブリックコメント

ご意見をお寄せください

全ての七五歳以上の人を対象とした新たな医療制度（後期高齢者医療制度）が、平成二〇年四月から実施されます。

この制度の運営は、都道府県単位で設立する広域連合が行うこととなり、神奈川県後期高齢者医療広域連合では、この制度を運営するにあたり、広域計画（案）を作成し、今後開催予定の広域連合議会で審議する予定です。広域計画（案）等資料は、健康増進課で配布します。

ご意見送付先

所定の用紙に必要事項を書いて、

郵送、FAX、eメールで、

〒二二一〇〇五二 横浜市神奈川

川区栄町八番地一 ヨコハマポ

トサイドビル九階 神奈川県後期

高齢者医療広域連合

☎〇四五―四四一―一五〇〇

eメール

info@kouiki-rengou-kanagawa.jp

問合せ

神奈川県後期高齢者医療広域連合

☎〇四五―四四〇―六七〇〇

締切 五月三十一日（木）（必着）

平成十八年度公文書公開・個人情報保護制度運用状況

・公文書公開制度運用状況
分野別請求件数（四八件）

総務部

十八件

福祉環境部

〇件

都市経済部

二六件

教育委員会

四件

消防本部・議会・監査・その他

二件

処理状況

公開

三四件

一部公開

三件

非公開

二件

不存在

九件

・個人情報保護制度の運用状況

登録件数

二一六件

開示請求等

〇件

問合せ 企画調整課 ☎内線三三三

広報はやまの文字が

大きくなりました

今月号から文字が大きくなりました。

（変更前） 広報はやま

←

（変更後） 広報はやま

問合せ 企画調整課 ☎内線三三三

『地球温暖化』について

考へよう

第一回

◆『地球温暖化』ってなに？

地球は太陽エネルギーで暖められ、暖められた地球からも熱を放射します。大気中の二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスは、地球から放射される熱の一部を吸収し、再び地表に戻す役割をしています。これにより、地球の平均気温は十五度前後と人間・生物が生きるのに適した環境を保っているのです。

このように、二酸化炭素などの温室効果ガスは、私たちが地球上で生きていくために無くてはならない存在ですが、逆に増えすぎてしまうと暖かくなってしまいます。これが地球温暖化です。

◆なんで温暖化するの？

産業革命以降、人間は石油や石炭などの化石燃料を大量に燃やして使うことで、大量の二酸化炭素を出すようになりました。昔は、それが植物や海に吸収されることで、地球全体のバランスは取れていましたが、現在は、急激に増えたために吸収しきれず、大気中の二酸化炭素濃度も増え続けているのです。約二〇〇年前、産業革命が始まったころの二酸化炭素濃度は約二八〇ppmでした



全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<http://www.jccca.org/>)から引用

が、現在では約三七〇ppmを超えてしまいました。これは過去二万年で最大の増加率であり、過去二千年で最高値であると言われています。このままでは、二一〇〇年には産業革命前の二〜三倍以上の五四〇〜九七〇ppmへ増加すると予測されています。

環境課 内線四五一

温室効果ガスと地球温暖化メカニズム

葉山歌壇俳壇

◎特選 *共選

短歌

岡田 保子 選

◎一瞬のためらひあるまま咲きかけの菜花を湯掻く朝光のなか 金井 比佐
 (評) つきつめて考える程でもない日常の暮しの中で過ぎる繊やかな思いを掬いとった歌。僅かな後めたさあるものの結句に陽春の明るさがあります。

川の瀬に鮎釣る人ら槍袈裟作るがごとく竿を構へぬ 近藤 礼
 「春陽・春陽」母の口ぐせ 山にはつほつ山桜咲く 米田 宮子
 万歩計一万目指し恙なく過ごせる日々重きを知りぬ 中川 弘子
 うら若きスモモの小枝二、三本活けてこの日の幸を確かむ 高梨 芳子
 山里に花の溢るる春は来て小さき棚田はれんげ敷きつめ 柳沢 千雪
 下校時の坂くだりくる児童らを分けて気丈にわがのほりゆく 山本 ふで
 雨の日も一山越えて届きたり田浦港の汽笛の音は 多羅 空竹
 落柿舎の傍にれんげ摘み姉妹のお揃ひスカート遠き想ひ出 渡辺 裕子
 初蝶にいざなはれつつ四脚門くぐれば浄土に進むごとくに 安藤とみ子

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎喧嘩も景色となりし花見船 伊藤 桃
 (評) 俳句で花といえは桜のことである。花を鑑賞するころは、急に賑やかな季節となる。待ちに待った春が訪れたのだ。その喧嘩も景色の一つだと表現したところが花見船にふさわしい句となった。

*コンサート果てし闇路の沈丁花 石川 光子
 (評) じんちようげは、香りが高く沈香や丁香に似ているのでこの名がある。楽しい音楽会が終りホールを出ると何処からともなく沈丁花が匂ってくる。一日よい霧の困気の中で過した喜びが伝わってくるような作品である。

小手がさす目に溢れくる花葉波 片山 久女
 藍色の日毎に深む春の海 深海志津枝
 年を経し亀の甲羅に桜散る 多羅 空竹
 大木の枝打ちされて影縮む 熊谷 晃門
 月朧朧に急ぐからす二羽 米田 宮子

◎天平の礎石に落花ひとしきり 安藤とみ子
 (評) 前書に海老名国分寺とあり、この国分寺は相模一円を対象とする。礎石だけが残り、天平の面影はないが、壮大な国の力がここにも及んでいたことを示す。礎石への桜吹雪により懐古の情が生れるというもの。原句は「礎石に」とあるが説明的。「礎石や」と切ると句にひろがりが出る。

読みかけの龍太全集春浅し 川崎 虎康
 (評) 現代俳句の第一人者で日本芸術院会員の飯田龍太さんが、二月二五日に亡くなった。新聞はそのことを第一面で伝えていた。その全集は平成十七年に刊行され、十巻もあるので作者はまだ読みかけの状態。読み進むうちにその深い内容に圧倒され納得するだろう。

*コンサート果てし闇路の沈丁花
 塩味の葉の香もよかり桜餅 石川 光子
 降り注ぐ春日燦々円覚寺 伊藤 青嵐
 春泥や竹馬の友と云はれしが 村上 久女
 白梅や唄五人の露天風呂 熊本 京子

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで(当季雑詠)、住所、氏名、電話番号を書いて、企画調整課「葉山歌壇俳壇係」まで